

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-007447

(43)Date of publication of application : 10.01.1995

(51)Int.Cl. H04B 1/16
H04B 1/08
H04H 1/00

(21)Application number : 05-148065

(71)Applicant : FUJITSU GENERAL LTD

(22)Date of filing : 18.06.1993

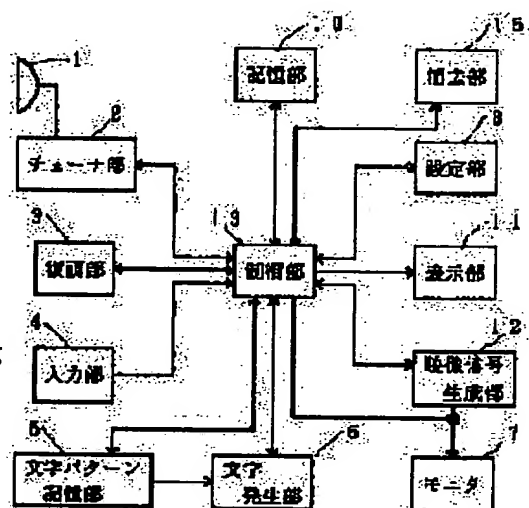
(72)Inventor : YOSHIMOTO HIROYUKI

(54) SATELLITE TUNER DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a device for setting up a required name in received satellite broadcasting and displaying the set name.

CONSTITUTION: The device is switched to a name setting mode and satellite broadcasting is received from and input part 4. A character pattern storage part 5 outputs a guidance pattern for setting operation and displays the output on a monitor 7. Characters displayed to set up a name are specified by a cursor and the spelling of the required name is selected and stored in a storage part 10. When satellite broadcasting is received in a normal receiving mode, the set name of the satellite stored in the storage part 10 is generated as a video signal by a video signal generating part 12 and outputted to a monitor 7 or the like.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-7447

(43) 公開日 平成7年(1995)1月10日

(51) IntCl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 B 1/16	C	7739-5K		
1/08	U			
H 0 4 H 1/00	H			

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平5-148065

(22) 出願日 平成5年(1993)6月18日

(71) 出願人 000006611

株式会社富士通ゼネラル

神奈川県川崎市高津区末長1116番地

(72) 発明者 吉元 裕幸

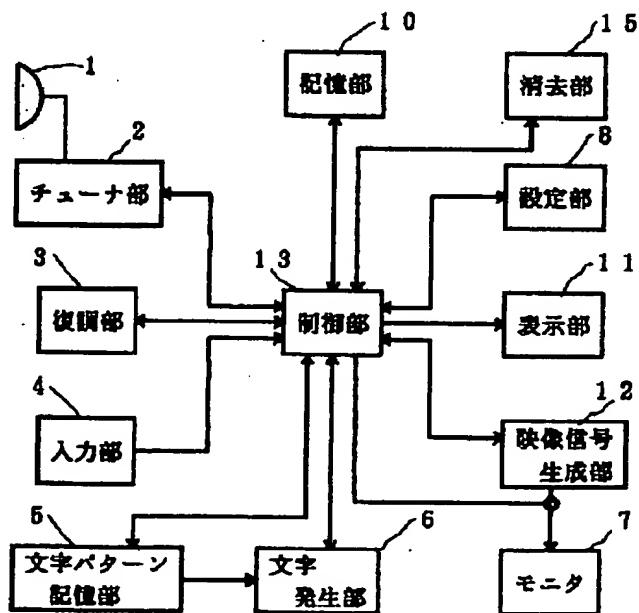
川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

(54) 【発明の名称】 サテライトチューナ装置

(57) 【要約】

【目的】 受信した衛星放送に希望する名称を設定し、表示させる装置を提供することを目的とする。

【構成】 入力部4より装置を名称設定モードに切り換え、衛星放送を受信する。文字パターン記憶部5は設定操作のためのガイダンスのパターンを出力し、モニタ7に表示する。名称を設定するために表示された文字をカーソルで指定し、希望する名称のスペルを選択し、これを記憶部10に記憶する。通常受信モードの時に衛星放送を受信すれば、記憶部に記憶されているその衛星の設定名称を映像信号生成部12で映像信号に生成しモニタ等へ出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信衛星、放送衛星等の衛星からの電波を受信し映像信号でモニタに出力するサテライトチューナ装置において、電波を受信するチューナと、前記チューナで受信した信号を復調する復調部と、設定操作を行うおよび入力文字を選択する入力部と、設定操作のためのガイダンスのパターンデータを出力する文字パターン記憶部と、前記文字パターン記憶部のデータを表示するモニタと、前記モニタに表示された文字を前記入力部で選択し、選択した文字を特定する設定部と、特定した文字のデータを生成する文字発生部と、選択した文字を記憶する記憶部と、記憶したデータをオンスクリーンとして前記モニタに表示させるため、映像信号に生成する映像信号生成部と、前記各部を制御する制御部とで構成されるサテライトチューナ装置。

【請求項2】 上記記憶部のデータを表示する表示部を設けたことを特徴とする請求項1記載のサテライトチューナ装置。

【請求項3】 上記記憶部のデータを消去する消去部を設けたことを特徴とする請求項1記載のサテライトチューナ装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明は、サテライトチューナ装置に係り、受信した衛星の名称を設定し、表示させることができる装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近來、CS（通信衛星）およびBS（放送衛星）が複数打ち上げられ、放送の多様化が進んでいる。国内ではSCC、JCSAT、BS等の衛星を受信することができ、海外で打ち上げられた衛星の一部も受信することができる。従来のサテライトチューナ装置では現在国内で打ち上げられているSCC、JCSAT、BS等の衛星を受信するチャンネルを設け、このチャンネルで受信した時にはその衛星放送名をモニタにオンスクリーンで表示するようにしている。また、海外の衛星で受信する頻度の高い放送に対しては専用チャンネルを設け、このチャンネルで受信した時には「OTHER」という名称をオンスクリーンでモニタに表示するようにしている。更に、受信周波数を自由に可変できるチューナを設け、このチャンネルで受信した衛星放送にも「OTHER」をモニタに表示するようにしている。上記のように「OTHER」で表示される衛星の受信頻度が増えればどの衛星を受信しているか識別できない問題があった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記従来の問題点を鑑みなされたもので、受信した衛星放送に希望する名称を設定し、表示させる装置を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために本発明では、通信衛星、放送衛星等の衛星からの電波を受信し映像信号でモニタに出力するサテライトチューナ装置において、電波を受信するチューナと、前記チューナで受信した信号を復調する復調部と、設定操作を行うおよび入力文字を選択する入力部と、設定操作のためのガイダンスのパターンデータを出力する文字パターン記憶部と、前記文字パターン記憶部のデータを表示するモニタと、前記モニタに表示された文字を前記入力部で選択し、選択した文字を特定する設定部と、特定した文字のデータを生成する文字発生部と、選択した文字を記憶する記憶部と、記憶したデータをオンスクリーンとして前記モニタに表示させるため、映像信号に生成する映像信号生成部と、前記各部を制御する制御部とで構成する。

【0005】

【作用】上記構成によれば、入力部より装置を名称設定モードに切り換え、衛星放送を受信する。文字パターン記憶部は設定操作のためのガイダンスのパターンを出力し、モニタに表示する。名称を設定するために表示された文字をカーソルで指定し、希望する名称のスペルを選択し、これを記憶部に記憶する。通常受信モードの時に衛星放送を受信すれば、記憶部に記憶されているその衛星の設定名称を映像信号生成部で映像信号に生成しモニタ等に出力する。

【0006】

【実施例】本発明の実施例を添付図面を参照して詳細に説明する。図1に示すように、1はパラボラアンテナで、衛星からの電波を受信する。2はチューナで、受信したい放送波を選局受信する。3は復調部で、受信した電波信号を復調する。4は入力部で、装置を名称設定モードに切り換えるおよび名称を設定するに当たり文字を選択する。5は文字パターン記憶部で、図2に示すように、設定操作のためのガイダンスのパターンデータを出力する。7はモニタで、文字パターン記憶部5のデータを表示する。8は設定部で、モニタ7に表示された文字9を選択するために入力部4のカーソルキーを移動し希望する文字9を選択し、設定部が選択した文字9を識別する。6は文字発生部で、設定部8が識別した文字のデータを生成する。10は記憶部で、文字発生部6で生成した文字を記憶する。11は表示部で、記憶したデータを表示する液晶等の表示装置である。12は映像信号生成部で、記憶部10に記憶したデータを映像信号に生成する。15は消去部で、一端設定した文字を消去する。13は制御部で、前記各部を制御する。上記構成において、海外の衛星、例えば、アジアサットを受信し、受信した時、表示部9およびモニタ7にアジアサットであることを示す名称、例えば、「ASIASAT」を表示させたい場合、入力部4より装置を名称設定モードに切り

換える。そしてチューナ2を選局してアジアサットを受信する。次に、登録したい名称「ASI ASAT」を入力するために、モニタ7に表示されるガイダンスを見ながらカーソルを選択する文字9「A」に移動して「実行」すると、設定部8は特定された文字「A」を設定し、文字発生部6が文字「A」のデータを生成する。そこで記憶部10はこのデータを記憶すると共に、制御部13は「A」をモニタ7の衛星名14の位置に表示すると共に、表示部11に表示する。次に、S、I、A・・・と順次文字9を指定し設定名称として記憶部10に記憶させる。尚、希望する名称のスペルを間違えて設定した場合および設定名称を変更したい場合にはモニタ7に表示されるガイダンスの文字「消」16をカーソルで選択すれば、例えば、最後に表示されている1文字が消去される。このようにして希望する設定名称の選択が終了すれば、入力部4にて、装置を通常受信モードに切り換える。そしてアジアサットを受信すれば、制御部13はチューナ2の受信周波数を読んで、記憶部10に記憶されているデータの中から同周波数に対応するデータの「ASI ASAT」を読み出し、表示部11に表示すると共に、映像信号生成部12で映像信号に生成し、モニタ7等にオンスクリーンで出力する。

【0007】

【発明の効果】以上のように本発明においては、受信する衛星に希望する名称を設定することができるので、同

衛星を受信した時、表示部およびモニタに設定した名称が表示され、どの衛星を受信したかが一目瞭然に分かる。

【図面の簡単な説明】

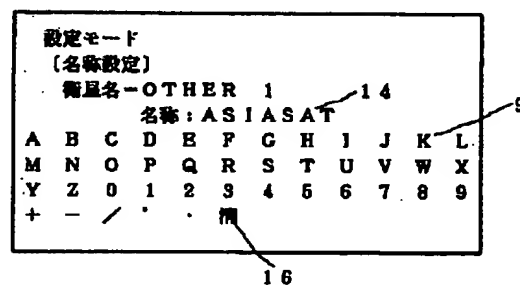
【図1】本発明のサテライトチューナ装置の一実施例を示すブロック図である。

【図2】本発明のサテライトチューナ装置のガイダンスである。

【符号の説明】

- 1 パラボラアンテナ
- 2 チューナ
- 3 復調部
- 4 入力部
- 5 文字パターン記憶部
- 6 文字発生部
- 7 モニタ
- 8 設定部
- 9 文字
- 10 記憶部
- 11 表示部
- 12 映像信号生成部
- 13 制御部
- 14 衛星名
- 15 消去部
- 16 消去

【図2】



【図1】

